

平成27年度事業報告

公益財団法人三菱経済研究所

1. 内外経済の概況

世界経済は、一部に弱さが見られるものの全体としては緩やかな回復が続いている。米国では、ドル高や新興国経済の減速などを背景に鉱工業部門の生産活動は力強さを欠いているが、堅調な家計支出に支えられて景気回復が続いており、当面は、民間需要を中心にした回復トレンドに変化はないとみられる。中国経済については、過剰設備や過剰在庫の下押し圧力によって減速が続いているが、政策当局の下支えもあって概ね安定した成長を続ける公算が大きい。中国以外の新興国・資源国は、中国経済が減速するなか、資源価格の下落や地政学リスクに敏感な国々を中心に成長ペースが鈍化しており、回復までに時間を要する可能性もある。また欧州では、雇用・所得環境の改善を背景とする個人消費の増加、並びに緩和的な金融環境が牽引する形で、緩やかな回復が継続中である。

こうしたなか、わが国経済は、輸出・生産面に新興国経済減速の影響がみられるものの、総じて緩やかな回復を続けている。輸出は一部に鈍さを残しつつも持ち直しているし、設備投資は企業業績の好転を受けて緩やかな増加基調にある。また、消費税率引き上げの余波が長引く個人消費についても、雇用・所得環境の改善を背景に徐々に改善の兆しがみえる他、住宅投資も持ち直している。今後についても、家計、企業の両部門において所得から支出への前向きの循環メカニズムが持続するとみられ、国内需要が増加基調を辿るとともに、輸出も欧米向けを中心に緩やかな増加が見込まれる。このため、わが国経済は引き続き緩やかに拡大していくものと考えられる。

なお、足許の不透明要因として、①米国金利の引き上げや日欧のマイナス金利導入など金融政策の動向、②資源価格の変動と新興国・資源国経済の先行き、③欧州に広がるテロと難民問題、などが挙げられる。これらの状況如何では、世界経済の先行きに不透明感が漂う可能性もある。

2. 事業活動

(1) 経済研究部門

当部門は、①内外経済・産業情勢の現状と展望に関する分析と、②経済の基礎研究を通じた学術分野への貢献、を二本柱として活動をしている。このうち、内外経済・産業情勢の分析については、欧米やアジアを中心とする各国経済の動向や内外の政治・金融情勢など、わが国経済が関連する重要なテーマを鋭意取り上げた。また、基礎研究については、国内外の修士号・博士号取得者を研究員として積極的に登用し、学術研究部

門としての体制充実とレベルの向上に努めた。こうした研究活動の成果は、下記刊行物の形で広く一般の利用に供している。

①月刊誌

「経済の進路」 B5版 22頁

昭和3年の創刊。国内及び海外経済・産業のポイントや問題点について分析し、それを平易かつ簡潔に紹介するもの。発行部数は毎号約21,000部。

「MONTHLY CIRCULAR—Survey of Economics Conditions in Japan—」

(英文経済月報) 変形A4版 12頁

大正12年の創刊。海外での日本経済に対する理解と認識を深めてもらうことを目的として、主に国内経済に関する分析と解説を英文で紹介するもの。海外30数カ国の政府機関や中央銀行、商業銀行に送付されており、発行部数は毎号約2,400部。

②基礎研究書：計2点刊行

「人はなぜ協調するのか—くり返しゲーム理論入門—」

平成27年7月5日刊行 (A5判 81頁)

元当研究所兼務研究員(東京大学大学院経済学研究科教授) 神取 道宏著
人間が長期的な関係の下で協調的な行動を取る理由を、経済学の複雑な数理モデルに依らず平易なゲーム理論を用いて解説した入門書。

「見間違えのあるくり返し囚人のジレンマ

—私的不完全観測下の実験とトーナメント—」

平成28年3月30日刊行 (A5判 91頁)

元当研究所兼務研究員(東京大学大学院経済学研究科教授) 神取 道宏著
相手の行動を見間違える可能性のあるくり返しゲームについて、様々な前提条件を置いた実験を行い、未解決の課題が多い同研究に一石を投じるもの。

なお、研究部門が所管する資料室では、内外の経済関係の図書や資料を所蔵し、希望者の閲覧にも供している。年度中に史料館史料部への資料の移管及び一部資料の処分を実施したこともあり、年度末の保有点数は26,439点と、前期末比3,455点減少した。

(2) 史料部門

当部門は、①三菱に関する史料の収集、整理、保存や閲覧等の供与、②所蔵史料を活用した学術的な調査、研究や成果の発表、③展示室の充実、解説書等の作成整備、見学会、研修の実施などを通じた史料館機能の拡充を三つの柱として、三菱および日本の産業発展史の調査、研究に資すると共に、三菱の歴史や経営理念の由来について広く理解が深まるよう活動を行っている。

① 三菱関係史料の収集、整理、保存及び閲覧の供与

史料収集・整理に努めた結果、平成 28 年 3 月末の収蔵史料は 66,774 点となり、前期末比 3,238 点増加した。また、収蔵史料の劣化対策も兼ね、閲覧用マイクロフィッシュ作成を順次実施している。当年度は 715 点の作成を実施した結果、平成 28 年度 3 月末の作成済史料数は 22,762 点となった。

また、研究者等の史料閲覧者は 217 名(閲覧史料点数 1,517 点)。更に、広く一般の個人、企業、学校、マスコミ等からの問合せ(レフェレンス)や取材も 710 件に上り、これらに積極的に対応した。

また、前年度に更新工事を行った全館空調設備の稼働状況のモニターを、年間を通じて実施。その結果、目標とした温湿度がほぼ安定的に維持され、適切な史料保存のための書庫環境が実現されていることを確認した。

② 所蔵史料を活用した調査、研究、及び成果の発表

当研究所研究員等の執筆による論文や史料紹介を収録した「三菱史料館論集」第 17 号を平成 28 年 3 月に刊行し、内外の大学、研究機関やアーカイブズに贈呈した。第 17 号には論文等 8 本(論文 3、研究ノート 3、史料紹介 2)を掲載した。内、論文は以下のとおり。

「三菱財閥における付加価値の分配と人的資本の役割」

当研究所兼務研究員(東京大学大学院経済学研究科教授)岡崎哲二

「戦前期三菱銀行の資金循環」

当研究所兼務研究員(東京大学大学院経済学研究科教授)粕谷誠

「郵便汽船三菱会社の組織形成 — 「調役」機能とその要員に着目して —」

当研究所専任研究員 太田仙一

③ 三菱史料館の運営

平成 27 年度に三菱史料館展示室を訪れた来館者は 5,258 名(一般見学 3,722 名、研修見学 1,536 名)。また、展示室では常設展示に加え「岩崎彌太郎の筆跡」の企画展を開催した。また、三菱のあゆみを簡潔に紹介する映像(DVD)を 17 年振りに製作した(映像使用開始は平成 28 年度予定)。

なお、三菱研究の拠点として、研究の裾野拡大や経済史若手研究者の育成を主眼に、従来の専任研究員 1 名、兼務研究員 3 名の体制から専任研究員 2 名、兼務研究員 2 名の体制へ平成 27 年 4 月より移行した。

3. 維持会員

平成 28 年 3 月末の維持会員数は 337 件である。(前期末比 3 件減)

平成 27 年度においては、下記のとおり維持会員懇談会を開催した。

7 月 13 日 会 場：東京大手町「LEVEL XXI (レベル 21)」

演 題：「戦後日本外交をどう捉えるか

—吉田ドクトリンから安倍ドクトリンまで」

講 師：東京大学大学院 法学政治学研究科教授 藤原 帰一 氏

また、昨年度に引き続き大阪と名古屋で維持会員懇談会を開催した。

12 月 7 日 会 場：大阪市「三菱東京 UFJ 銀行大阪東銀ビル」

テーマ：「2016 年の内外経済展望」

第 1 部 海外経済の現状と展望

第 2 部 日本経済の現状と展望

報告者：第 1 部 三菱東京 UFJ 銀行

経営企画部経済調査室長 佐藤 昭彦 氏

第 2 部 当研究所 滝村 竜介常務理事

12 月 11 日 会 場：名古屋市「三菱東京 UFJ 銀行名古屋ビル」

テーマ：「2016 年の内外経済展望」

第 1 部 海外経済の現状と展望

第 2 部 日本経済の現状と展望

報告者：第 1 部 三菱東京 UFJ 銀行

経営企画部経済調査室長 佐藤 昭彦 氏

第 2 部 当研究所 滝村 竜介常務理事

4. 庶務事項

(1) 評議員会

第 5 回評議員会（平成 27 年 6 月 23 日開催）

議 案 評議員 10 名選任の件

原案通り承認可決

理事 10 名選任の件

原案通り承認可決

監事 2 名選任の件

原案通り承認可決

報告事項 平成 26 年度事業報告、財務諸表及び附属明細書並びに財産目録の件
空調設備等更新工事について

(2) 理事会

第 11 回理事会（平成 27 年 6 月 4 日開催）

議 案 平成 26 年度事業報告、財務諸表及び附属明細書並びに財産目録承認並びに
特定資産への繰入れ及び取崩し承認の件

原案通り承認可決

定時評議員会招集の件

平成 27 年 6 月 23 日三菱クラブに招集し開催することを承認可決

評議員候補者選任の件

本年の定時評議員会をもって評議員 10 名が任期満了となり評議員選任が必要となるので 10 名の候補者を選任した。

理事候補者選任の件

本年の定時評議員会をもって理事 10 名が任期満了となり理事選任が必要となるので 10 名の候補者を選任した。

監事候補者選任の件

本年の定時評議員会をもって監事 2 名が任期満了となり監事選任が必要となるので 2 名の候補者を選任した。

報告事項 空調設備等更新工事の件

職務執行状況の報告

第 12 回理事会（平成 27 年 7 月 2 日みなし決議）

議案 (1) 理事長(代表理事)選任の件

三木繁光氏を理事長に再選

原案通り承認可決

(2) 副理事長(代表理事)選任の件

吉峯 寛氏を副理事長に再選

原案通り承認可決

(3) 常務理事選任の件

西田純隆、滝村竜介両氏を常務理事に再選

原案通り承認可決

第 13 回理事会（平成 28 年 3 月 28 日開催）

議案 平成 28 年度事業計画及び収支予算書並びに特定資産への繰入れ及び取崩し承認の件

原案通り承認可決

平成 28 年度資金調達及び設備投資の件

原案通り承認可決

個人情報保護に関する諸規定の制定および就業規則の改定の件

原案通り承認可決

報告事項 職務執行状況の報告

(3) 官庁関係事項

平成 27 年 6 月 26 日 内閣府へ平成 26 年度事業報告並びに財務諸表及び附属明細書並びに財産目録を提出(電子申請)

平成 27 年 7 月 31 日 内閣府へ評議員 3 名、理事 1 名、監事 1 名の変更届出書を提出(電子申請)

平成 28 年 3 月 29 日 内閣府へ平成 28 年度事業計画及び収支予算書を提出
(電子申請)

(4) 登記事項

平成 27 年 7 月 27 日 荒蒔康一郎氏ほか 6 名評議員重任登記
武田晴人氏ほか 2 名評議員就任登記
石村和彦氏ほか 8 名理事重任登記
井手明彦氏理事就任登記
関口憲一氏監事重任登記
木村恵司氏監事就任登記
三木繁光氏ほか 1 名代表理事就任登記
有限責任監査法人トーマツ会計監査人重任登記

5. 役員・評議員・職員 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

(1) 役員

理事 (10 名)

理事長 三木繁光

副理事長 吉峯寛

常務理事 西田純隆

常務理事 滝村竜介

理事

石村和彦 井手明彦 岩井克人 鈴木良隆

樋口公啓 谷野剛

監事 (2 名)

木村恵司 関口憲一

(2) 評議員 (10 名)

荒蒔康一郎 伊与部恒雄 内海暎郎 草刈隆郎

佐々木幹夫 下村節宏 正野寛治 武田晴人

西岡喬 樋口美雄

(3) 職員

常勤 13 名

非常勤 4 名

事業報告の附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。